



SAP Ariba 

ERP で処理エラーとなったサービスシートの編集および再提出

SAP Ariba、Johan Holm
一般提供予定: 2018 年 8 月

CONFIDENTIAL

 SAP Run Simple

機能の概要

新機能: ERP で処理エラーとなったサービスシートの編集および再提出

お客様の課題

サービスシートが SAP Ariba Buying から SAP ECC に送信され、ERP で処理が失敗し、SAP ECC から状況「却下済み」が誤って返されたとします。これにより、ユーザーが混乱します。また、ユーザーはサービスシートの問題を修正し、SAP ECC に再プッシュすることができません。

SAP Ariba でこの課題に対応

バイヤー ERP (ECC) へのプッシュが失敗した場合に、この機能によって、ユーザー (SAP Ariba Buying のバイヤー) がサービスシートを修正することができます。新しい状況「外部システムでの処理エラー」、および失敗した理由の説明が追加されました ([履歴] タブで確認できます)。

SAP Commerce Automation をご利用のお客様の Ariba Network には、処理エラーとなったサービスシートをサプライヤが修正する機能がすでに含まれています。

実現される主なメリット

この機能により、ERP へのプッシュ時に起こりうるサービスシートの問題を、SAP Ariba Buying のユーザーが修正することができます。

ソリューション領域

SAP Ariba Buying
SAP Ariba Buying and Invoicing
SAP Ariba Invoice Management

実装に関する情報

この機能は、通常の設定で有効化されています。

前提条件および制限事項

これは SAP ERP 統合サイト向けの機能です。

機能の概要

概要: ERP で拒否されたサービスシートの編集および再提出

現行の機能では、サービスシートが SAP Ariba Buying で承認され SAP ERP に送信された後、ERP で処理が失敗すると、SAP ERP から「却下済み」が返され、失敗理由の情報は返されません。バイヤーには、この問題を修正して再提出する方法がありません。

新機能を使用すると、SAP Ariba Buying のユーザーが、サービスシートに「外部システムでの処理エラー」が発生したことを示す通知を取得することができます。また、サービスシートを状況別にフィルタリングし、サービスシートの失敗理由テキストを [履歴] タブで表示することもできます。また、ユーザーがサービスシートを編集して ERP に再提出するか、サービスシートを却下するかを選択することもできます。

